

ブラック中のブラック大学! 中央学院

東京地裁裁判に、学院責任者は誠実な対応を!



学位記を授与される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

でも皆さんは母校に誇りをもてますか?

中央学院大学の 6割の教員が非正規雇用

学位記を授与される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

でも皆さんは母校に誇りをもてますか?

中央学院大学は、授業の約6割を正規雇用の「専任教員」に、残りの約4割を「非常勤講師」という名の非正規の教員に担当させています。非正規教員は、社会保険なし・賞与なし・退職金なし等々、ないないづくしの1年契約教員です。

中央学院の正規雇用教員69人に支払う総人件費が、約8億7000万円(2014年度)。他方、授業の約4割を担当する「非常勤講師」116人の総人件費は、たったの約1億2000万円(同年度)。授業1単位あたりに換算した賃金格差は、なんと約5倍です!

平気でうそぶく 佐藤英明学長

ところが佐藤英明学長は、専任教員と非常勤講

師の賃金は「均衡がとれている」と、うそぶいています。何たる厚顔無恥。アゼン、唾然!

非正規差別が6倍 正当化の根拠は?

日本の大学はそもそも「ブラック産業」であり、どこも似たり寄ったりなのですが、中央学院は「ブラック中のブラック」と言えます。というのも、非常勤講師の小林勝さんに、20年近くもの長期にわたって専任教員以上の授業数を担当させながら、年間200万円程度しか支給してこなかったからです。ちなみに、専任教員の平均人件費は年に1250万円であり、約6倍の開きがあります。この格差を正当化できる理由などありません。説明できるのなら説明して欲しいものです。私たちは問題の一括解決を求めた裁判を東京地裁に起こしました。これまで中央学院は、「現状の非常勤講師の賃金水準は社会的に受容されて」いるのだから専任教員との格差もあって当然(被告第2準備書面)と突き放し、小林さんの訴えを真摯に受け止めようとしていません。来る第3回公判は、3月30日(木)に予定されています。

第3回裁判 3月30日(木) 10:00 東京地裁709法廷

わたしたちは求めます

中央学院大学(進藤暉彦理事長)殿! 佐藤英明学長(倫理学担当)殿!

- 建学の精神「公正な社会観と倫理観の涵養(かんよう)」が泣いていませんか!!
- 非常勤講師の待遇を抜本的に改善し、小林勝さんの即刻専任化を!
- 「差額支給と専任化約束不履行の損害賠償請求」を求めた小林裁判への誠実な対応を!

小林勝20条闘争を支援する会への

いま全国の小・中・高等学校や大学そして予備校や塾では、大量の非常勤講師が働いています。生徒・学生から見れば、専任教員と何も変わらない「同じ」先生に見えます。ですが非常勤講師と専任教員とは賃金その他の労働条件には雲泥の差があり、とても「同じ」とは言えません。（なお前述『被告第2準備書面』によれば、「非常勤講師は…本学の学生の教育についての責任を負うべき立場にはない」そうです!）。



参加のお願い

専業非常勤講師は、国民年金や国民健康保険に自分で加盟して、その掛け金を、少ない給与から全額自分で払い込んでいるのです。

日本の高等教育の約半分を担う大学非常勤講師の劣悪な待遇が、このまま放置されてよいわけがありません。

同一の大学で専任並みのコマ数を担当している小林さんの「均衡待遇・均等待遇」を求める闘いに勝利すれば全国の大学の雇用責任を浮き彫りにできるでしょう。またそれによって、多くのコマを複数の大学で担当することを余儀なくされている専業非常勤講師の「不合理」な待遇を改善するための闘いを、強力に後押しできると確信しています。

多くの皆さまに「支援する会」への参加をお願いいたします。

※この闘争について、弁護団の早田弁護士が『科学的社会主義』2月号に寄稿しています。

中央学院大学に対する小林勝さんの裁判闘争を支援する会

略称：小林勝20条裁判を支援する会

共同代表

金子勝（立正大学名誉教授、憲法学）

嶋崎英治（三鷹市議）

館幸嗣（中央学院大学教授、民法）

森博行（弁護士）

弁護士

加藤晋介、指宿昭一、内村涼子、河村健夫、河村洋、早田賢史、山田大輔、吉田伸広

支援する会 事務局長 小林春彦

賛同金 ■個人 年間 一口 1000円

郵便振込口座 00140-4-603288

■団体 年間 一口 3000円

加入者名 小林勝さんを支援する会

※ニュース等をお送りしますので、メールアドレス、携帯電話の記載をお願いします

住所：東京都千代田区岩本町 2-17-4 NS20 ビル1階 労働運動センター内

TEL 070-6576-2071 FAX 03-5820-2080

メール： 20kobayashi20@gmail.com



※ 多くの方の入会をお願いします

今後、ホームページ等も新設していきます。

